



# 知名町気候非常事態宣言



近年、世界各地で発生している猛暑や集中豪雨、大規模な干ばつや山火事など、極端な気候変動によって、私たちの生活や貴重な自然環境が脅かされています。本町においても、地球温暖化に起因するサンゴ礁の白化や海面上昇による高潮の被害、毎年襲来する台風の大型化といった、気候変動による被害が顕著になってきております。そのような背景を受け、本町は気候変動が人間社会や自然界にとって著しい脅威になっていることを認識し、持続可能な社会を目指すため、令和2年9月29日知名町気候非常事態宣言を表明します。

## 知名町が目指す3つの未来

### 1. 気候変動の非常事態に関する町民への周知啓発と4R活動の徹底に努めます。

地球温暖化の影響により日本各地で多くの気象災害が発生しており、それらは本町経済にも大きな影響を与えています。また、令和2年4月、本町の白浜港においてプラスチックごみの誤飲が原因で死亡したとみられるウミガメが漂着しました。本町ではそのような背景から気候変動の非常事態に対して、町民への周知啓発を行うとともに、海洋汚染や温室効果ガスの排出の原因となるプラスチック製品の4R活動（Reduce:ごみの排出抑制、Reuse:再利用、Recycle:再資源化、Refuse:ごみの発生回避）の浸透に向けて町全体で積極的に取り組みます。



▲ 白浜港に漂着したウミガメと周りに散乱するプラスチックごみ

### 2. 省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの自給率向上を目指します。



2016年に日本は「産業革命前からの気温上昇を2℃より低い状態に保つとともに、1.5℃に抑える努力を追究する。」を目標とした「パリ協定」について署名しました。本町では2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制することを目標として化石燃料から、太陽光や風力などの地域資源に由来する再生可能エネルギーの自給率向上を目指します。

### 3. 自然環境を守り温室効果ガスを抑制し、豊かな森林を生かした町づくりを実現します。



豊かな自然環境が残っている本町では、それらの保全に努め、基礎となる森林資源の管理を行います。

